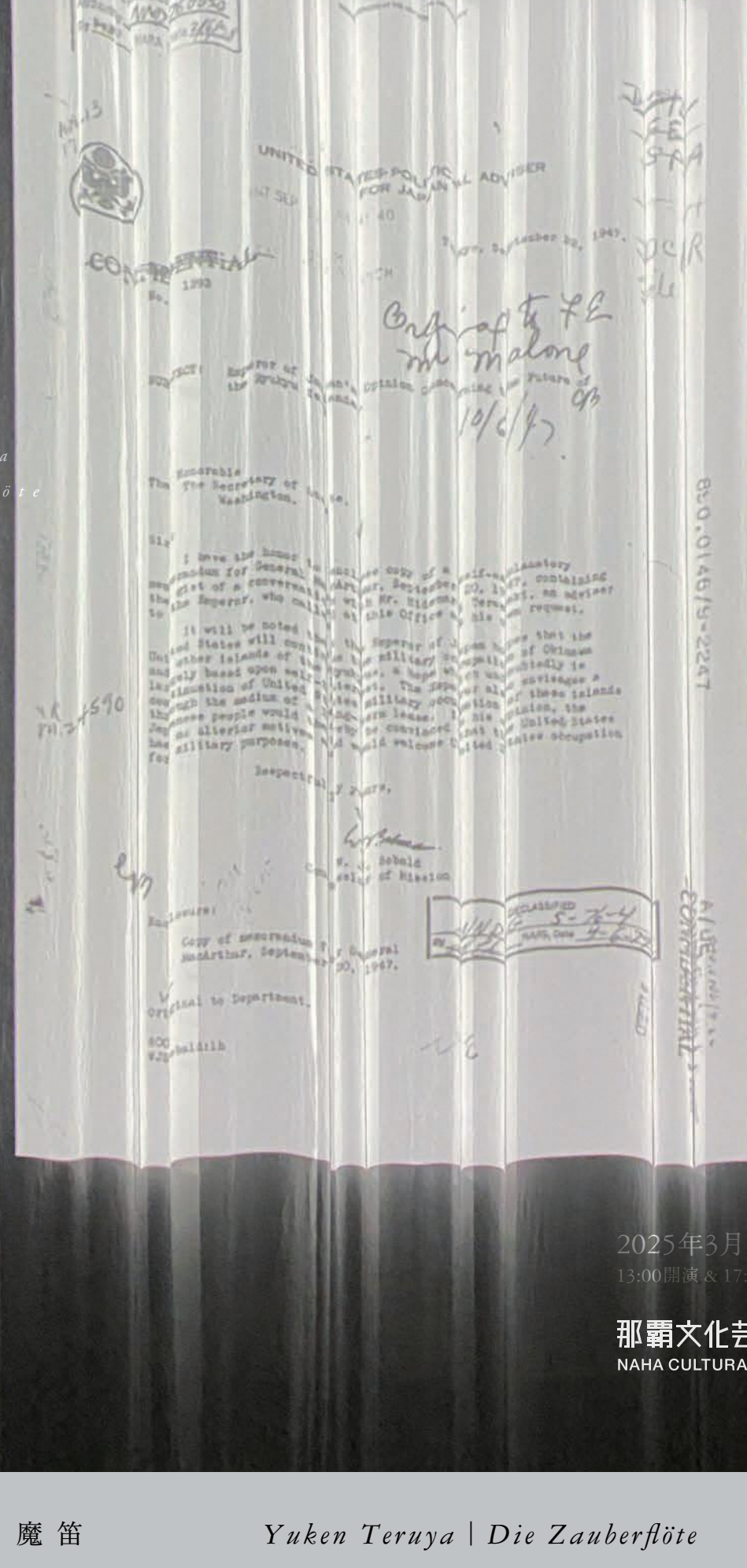


# 照屋 勇賢

## 魔笛

Yuken Teruya  
Die Zauberflöte



2025年3月1日(土) 全2回公演  
13:00開演 8:17:00開演 (男女別)

那覇文化芸術劇場なはーと  
NAHA CULTURAL ARTS THEATER NAHART

照屋 勇賢 | 魔笛  
出演者

Yuken Teruya | Die Zauberflöte

Performers

### 照屋 勇賢

総合演出・企画構成・舞台美術

1973年沖縄生まれ。ベルリン在住。2001年にニューヨークのスクール・オブ・ビジュアルアーツでMFA修了。

以降ニューヨーク、ベルリン、沖縄を拠点に活動。身の周りのものを素材とし、緻密で繊細な技術を用いて、大量消費社会、グローバルズムや環境問題、普段は気づかない価値観や枠組みなどの問題を作品化する。

2014-15年「Yuken Teruya:On Okinawa/Humboldt Lab」ドイツ国立アジア美術館、2023年「Yuken Teruya:Okinawa Heavy Pop」沖縄県立博物館・美術館 を得て、2025年には、那覇文化芸術劇場なはーとによるモーツァルトによるオペラの「沖縄版魔笛」の総合監督を務める。上海ビエンナーレ(2018年)、ボンビドー・センター・メッセ (2017年)、Greater New York 2005 PSL (2005年) 横浜トリエンナーレ (2005年)、などの国際展に参加。

### Mieko Suzuki

作曲・夜の女王

広島生まれ、ベルリン拠点のサウンドアーティスト、DJ、作曲家、即興バンド Contagious のメンバー。時間と空間の物質性に焦点をあて、予測不能で偶然性を生かした音の冒険を体感させる。振付家 や 演出家、ビジュアルアートやオーケストラと意欲的に共同制作をしており、地下のクラブ、オペラ、演劇、美術館、ダンス・パフォーマンスなど多岐にわたる分野で強い影響を与えている。舞台作品の代表作として、

Johan Simons: 『ハムレット』(2019)、『リチャード二世』(2021)、『オイディプス』(2021)、『ウィーンの子の森の物語』(2021)、『悪霊』(2022)、『ダントンの死』(2023)、Meg Stuart: 『City Lights』(2016)、『Celestial Sorrow』(2018)、『Tanzkongress』(2019)、『GLITCH WITCH』(2024) など多数。

<https://raster-media.net/artists/mieko-suzuki>

### 小野 龍一

音楽監督・編曲

音楽家。東京芸術大学の作曲科を卒業後、同大学院美術研究科を修了。音楽と人の関係性の「変奏」をコンセプトに音楽から美術、パフォーマンスなど領域横断的な制作を行う。近年の公演・展示に「奥能登国際芸術祭2023」(石川県珠洲市, 2023)、「キャンプ場で作るカレーはどこの家にもない味がする」(東京芸術劇場 シアターウエスト, 2024) など。東京芸術大学 芸術未来研究科 特任研究員。

### スズキ 拓朗

演出・振付/盛賢 (タミーノ)

振付家、演出家、ダンサー。ダンスカンパニーCHAiROIPLIN (チャイロイプリン) 主宰。第46回舞踊批評家協会新人賞、日本ダンスフォーラム賞、若手演出家コンクール最優秀賞、芸術祭新人賞など、数々の賞を獲得。NHK「みつけた!」振付出演、「刀剣乱舞」「文豪ストレイドッグス」、日生劇場への振付など多数。フィリップ・ドックワフ作品客演。公益財団法人セゾン文化財団セゾンフェローII。平成27年度東アジア文化交流使。

### 小林 らら

パミーナ

3歳よりクラシックバレエを始め、幼少より様々なバレエ公演に出演。高校在学時より、東京芸術劇場×勲使川原三子 U18メンバーとして活動。以後、近藤良平、鈴木ユキオ、青木尚哉などの作品に参加。近年の主な活動に、東宝ミュージカル、PARCO ステージなどの振付助手ほか、KADOKAWA「霧雨が降る森」振付、NHK Eテレ「みつけた!」ED曲「さあ!」出演など。2020年よりCHAiROIPLINに参加。

### 黒須 育海

パバゲーノ

ダンスカンパニー「フッシュマン」主宰。2018年「コンドルズ」参戦。異形な身体を探索する独自の世界観で話題に。東京芸術劇場シアターウエストや各地方公演、シビウ国際演劇祭をはじめ、ハンガリー、マレーシア、韓国などに招聘される。国際コンクールにてグランプリを含む3つの賞を受賞。2020年日本ダンスフォーラム賞、2023年エルスール財団新人賞、2024年舞踊批評家新人賞を受賞。大学で非常勤講師を務める。

### 浦島 優奈

パバゲーナ

3歳からクラシックバレエを始め、坪田律子に師事。上京後モダンダンス、コンテンポラリーダンスに出逢い木原浩太、加藤みや子に師事。日本女子体育大学舞踊学専攻卒。現在、ダンサー、振付家、ダンス講師など多岐に渡り活動中。スズキ拓朗、伊藤キムなどの振付家の作品に参加。近年では作品創作にも力を入れ、国内外で上演。ヨコハマダンスコレクション2023コンペティションIIアーキタンツ・アーティスト・サポート賞受賞。

### 佐辺 良和

モノスタトス

6歳より琉球舞踊 世舞流 家元 又吉世子に師事。沖縄県立芸術大学、同大学院、国立劇場おきなわ組踊伝承者養成研修にて古典舞踊・組踊への造詣を深める。2015年第19回日本伝統文化振興財団賞受賞。2018年沖縄タイムス芸術選賞大賞受賞。2022年琉球舞踊 世舞流 二代目家元を務める。女形・立役に定評があり、琉球舞踊、組踊公演、沖縄芝居公演で活躍するほか、県外および海外公演にも参加する。

### 仲村 逸夫

地方

9歳の頃、父、仲村勲より歌三線の手ほどきを受け、その後琉球古典音楽野村流保存会の比嘉康春に師事。沖縄県立芸術大学、同大学院、国立劇場おきなわ組踊伝承者養成研修にて琉球古典音楽への造詣を深める。2015年に第一回独演会を開催。2025年沖縄タイムス芸術選賞大賞受賞。国立劇場主催公演をはじめ、県内外で多くの演奏活動を行うほか、これまで多くの新作組踊や史劇、新作劇などの音楽監督を務め、琉球古典音楽を基軸に幅広い活動を行っている。

### 入 嵩 西 諭

地方

沖縄県立芸術大学大学院修了。国立劇場おきなわの第1期組踊研修生(地方 笛)として3年間組踊や琉球舞踊の地謡実技を学ぶ。修了後、古典組踊や琉球舞踊だけでなく新作組踊や作舞踊にも笛の地謡として様々な公演に携わる。国立劇場おきなわ主催公演をはじめ、県内外の琉球芸能公演に地謡・笛として参加。2017年には「琉球横笛第一回入嵩西諭独演会〜清風の音〜」と題し独演会を開催。2019・2021・2025年には、琉球争曲・琉球胡弓・琉球横笛の琉球古来の器楽を主体に「琉球器楽の会〜Reberberation〜」を開催、琉球横笛の世界をさらに深く追求している。

### 池間 北斗

地方

琉球伝統組曲琉絃会師範。6歳の頃又吉貞子に師事。沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻を卒業。国立劇場おきなわ第一期組踊研修修了。県内外の国立劇場や、海外での琉球芸能公演に地謡として出演。2022年6月に第一回池間北斗独演会〜飛龍〜を開催。NHK Eテレ「にっぽんの芸能〜今がややく若手たち〜」に準独奏で出演。令和6年度 邦楽普及拡大推進事業 邦楽普及大使、2017年：第24回賢順記念全国争曲コンクール 賢順賞受賞、2021年：第25回日本伝統文化振興財団賞受賞、2024年：沖縄タイムス芸術選賞奨励賞受賞

### 宍戸 優香

合唱

青春期の星高等学校音楽科(ピアノコース)卒業、日本大学芸術学部音楽学専攻音楽教育コース卒業、沖縄県立芸術大学音楽芸術研究科(大学院)演奏芸術専攻声楽専攻修了。青春県にて中学校教諭を勤めた後、幼少から少年〜成人へと移住。現在、沖縄県内のチャペルにて聖歌隊、ピアニストとして活動。金武町少年少女合唱団指導兼指揮者。アソシア音楽教室講師。不登校や発達障害の子どものを中心に家庭教師を行う。

### 金城 理 沙子

合唱

南風原町出身。県立開邦高校音楽コース卒業。沖縄県立芸術大学声楽専攻卒業時、西銘順治賞を受賞。同大学院声楽専攻修了。第46回新報音楽コンクール第1位・特賞。第20/25/28回おきでんジュニアホール新人演奏会オーディション入選。第2回ジュディッタバスタ記念熊本復興国際オペラ歌手コンクール入選・新進声楽家奨励賞。演奏会・オペラ出演等、県内を中心に演奏の傍ら、指導にあたる。沖縄県立芸術大学非常勤講師。

### 與 那 嶺 な つ き

合唱

沖縄県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。卒業時に西銘順治賞受賞。鹿児島国際大学音楽学部特別研究科修了。第42回新報音楽コンクール1位及び特賞受賞。第12回九州音楽コンクールグランプリ受賞。クラシックコンサート、オペラに多数出演。現在、特定非営利法人リトミック研究センター沖縄第一支部指導員として子どもたちへの指導及び指導者育成を担当。ペーレ・タビック沖縄にて音楽講師。名護市にてアソシア音楽教室を主宰。

### 喜 納 和

合唱

沖縄県糸満市出身。京都市立芸術大学音楽学部卒業。同大学院修了。テノールソリストとしてベートーヴェン《第九》モーツァルト《レクイエム》、2022年第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭「美ら島おきなわ文化祭2022」《メサイア演奏会》にてテノールソロを務める。芸術鑑賞会やアウトリーチを通して、子供から大人まで、クラシック音楽をより多くの人に親しんでもらう活動にも取り組んでいる。

### 又 吉 秀 和

合唱

沖縄県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、名古屋音楽大学大学院研究科修了。これまで県外で音楽活動を行っていたが、結婚を機に沖縄に帰郷。県内外でオペラやミュージカル、クラシックコンサートに多数出演している。現在、アソシア音楽教室講師、「JL コザゴスベルファミリー」ヴォイストレーナー、ナビーズ混声合唱団 合唱指導兼常任指揮者を務める。